

民間建築物における吹付けアスベスト等 飛散防止対策に関する調査結果



国土交通省は、建築物防災週間(2023年3月1日から3月7日)に実施した、民間建築物における吹付けアスベスト等の使用実態調査の結果を公表しました。

1) 調査内容

- 調査対象:1956年～1989年までに施行された民間の建築物のうち、大規模(概ね1,000m²以上)建築物
- 調査建材:吹付けアスベスト及びアスベスト含有吹付けロックウール
- 調査方法:地方公共団体から建築物所有者に報告を求めること等により実施

2) 調査結果

調査対応率…**95.6%**(前年対比**0.4%増**) (対応率=吹付けがされていない建築物 / 調査対象)
 調査対象 **259,658 棟**のうち、回答があった建築物の数 … **250,448 棟**
 露出してアスベスト等の吹付けがされていない建築物 … **235,505 棟**
 露出してアスベスト等の吹付けがされている建築物 …… **14,943 棟**
 指導により対応済みの建築物 …………… **12,298 棟**
 未対応の建築物 …………… **497 棟**

3) 今後の対応

- 吹付けアスベスト等が露出している建築物の所有者等に対し、除去、封じ込め又は囲い込みの対策実施について、より指導を徹底するよう地方公共団体に要請
- 報告の無かった所有者等への継続調査を地方公共団体に要請
- 今後も建築物防災週間において、その後の改善状況をとりまとめ、公表する予定

(公社)日本作業環境測定協会の「石綿分析技術評価事業」にて A ランクを取得しております。当社まで、お気軽にお問い合わせください。

資料 [2024年1月26日付 国土交通省報道発表資料](#)

環境リスク分析箇所 鈴木敏純

